

んでいる。

新病院は、医療圏内で急性期医療を担える中核病院として、機能の充実と圏内で完結できる医療提供体制を整備し、安定した医療サービスの提供を図る。

フロア構成は、1階に外来、内視鏡、画像室2室、薬剤室、こころ科、リハビリ、時間外救急室、レストラン、売店、厨房、エネルギーセンター、2階に人工透析・化学療法室、検査室、手術室、ICU、HCU、GCU、NICU、講堂、産婦人科病棟(45床)、管理室、エネルギーセンター、3階に病棟、4階に病棟、感染(3床)・結核(6床)病棟、5階に研修ラウンジを配置する。

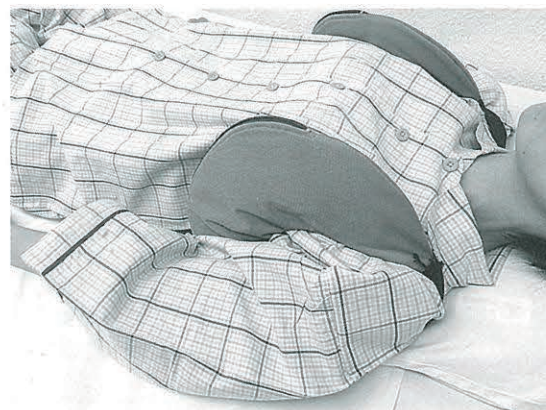
部を温めたり冷やしたりして病状の好転を図る治療方法のことである。同社では、冷電法および温電法のオリジナルケア商品の製造、販売や共同開発とOEM生産をしている。

冷電法ケア商品では、発熱による高体温時、熱中症によるうつ熱時の解熱用などの「くるっとクール(クラス1)」は、頸部、腋下部、鼠径部(大腿部の付け根)にフィットすることで動脈を冷やし体温を急冷させる。看護師の声から生まれた三日月形をしており、導入事例として、脳神経外科(NCU)、集中治療室(ICU)、高度治療室(HCU)、整形外科、婦人科、ホスピス・緩和ケア、学校、老人保健施設/特養ホームなどがある。

捻挫、打撲、関節炎、突き指、腱鞘炎、ぎっくり



くるっとクール(頸部)



くるっとクール(腋下部)

業界ニュース

三重化学工業、ジェル電法製品の代理店募集、共同開発・OEM生産も受託

三重化学工業(株)(三重県松阪市大口町262、Tel.0598-51-2361)は、ジェルを使った電法(あんぱう)製品を多くの医療機関や福祉施設向けに製造・販売している。医療および福祉系の展示会への出展で反響が大きいことから、潜在需要は大きいとみて、同社製品の販売代理店を募集し、広く認知度を高め、拡販につなげる。また、同社製品は、柔軟に形状を変えられるジェルを用いており、これまでの大学病院をはじめとする医療や介護現場からの要望や共同開発の事例から、まだまだ応用製品の創作の可能性は大きいとみて、同社との共同開発およびOEM生産に関する相談も受け付けている。

電法は、漢方医学の治療法の1つで、身体の一

腰など急性期の消炎鎮痛向けの「アイシングフィット-G(クラス1)」は、急性期のRICE処置における冷却(Icing)と圧迫(Compression)にフォーカスした形状やフィット感にこだわった急性期用冷却剤で、関節用Mサイズ、同Lサイズ、連結タイプ、指用(3個セット)を揃える。適応症例は、炎症の抑制、筋スパズムの軽減、疼痛の緩和、血管の収縮。導入事例では、整形外科、リハビリテーション科、救命救急、整骨院、学校、スポーツクラブなどがある。

このほか、オールマイティーに使えるアイシング用冷却剤「スノーパック・クール」も用意している。

温電法ケア商品の「ホットパック-mie(クラス



アイシングフィット-G(連結タイプ)



アイシングフィット-G(指用)

1)」は、患部にあわせて選べる3タイプのリハビリ用温熱パックとして、疼痛の緩和、筋スパズムの緩解、中枢神経麻痺による筋痙性の緩解、局所の浮腫軽減、血行改善に適応し、整形外科、リハビリテーション科、整骨院、鍼灸治療院、老人保健施設などに導入されている。

「バリアホット(クラス1)」は、透析時の血管痛の緩和、化学療法における痛みの緩和などに、透析現場の看護師の声から誕生した温熱パックで、タオルウォーマーで温める温熱剤である。加熱・蓄熱した温熱効果により患部を温め、消炎鎮痛処置を行う。

適用症例は、疼痛の緩和、筋スパズムの緩解、局所の浮腫軽減、血行改善、中枢神経麻痺による筋痙性の緩解で、透析施設、化学療法室をはじめ、産科婦人科、鍼灸治療院、老人保健施設/特養ホームなどに導入されている。

こうした製品は、看護師の視点、現場のニーズから発案され、実用化したものが多い。また、産学連携では、大阪大学医学部附属病院、三重大学医学部看護学科、藤田保健衛生大学病院看護部との共同開発実績がある。

同社は、これら医療製品のほか、作業用手袋、作業快適グッズ、保冷剤、保冷具などを製造する。また、50年以上にわたり氷枕も製造しており、氷枕は大手各社ブランド向けにOEM供給を行っている。

なお、同社は、松阪市の中小企業支援「ハンズオン支援事業」に採択され、医療・スポーツ用途の製品を開発した。